



絆プロジェクト

～ 日常実践の充実を目指した教育活動へのチャレンジ ～

環境

ICT

体力向上

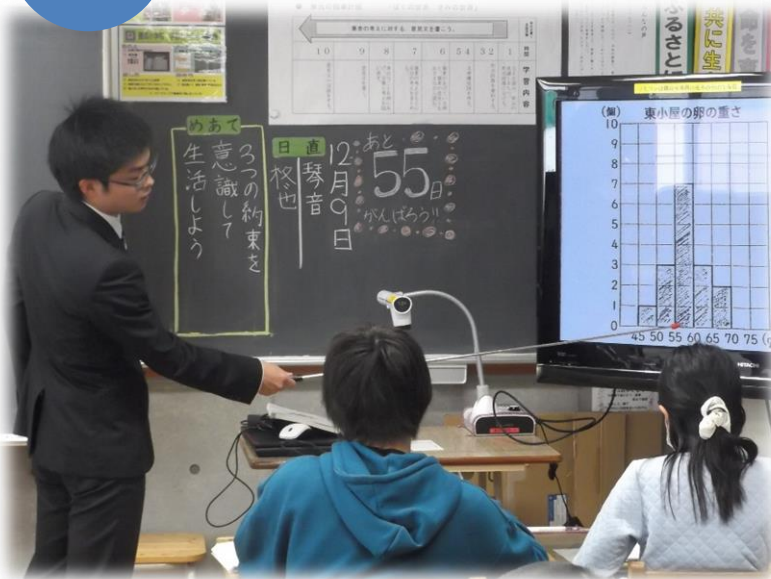
国際理解

キャリア

平成 28 年 12 月 12 日発行
No.15 文責 小林

ICT

ICTを活用した授業（馬場先生）



12月9日（金）、ICTチームの馬場先生が、算数科で「ICTを活用した授業」を公開してくださいました。

今までも「効果的な活用方法」については何度も紹介をしていただいていたのですが、実際の授業公開は今年度初めて。どのような場面でどのように活用されるのか、とても興味深く授業を参観させていただきました。

今回の授業では、①問題の提示、②表や図の拡大、③解答や誤答の確認が、主な活用内容でした。全て、学級全体で情報を共有するために使用されていましたが、1つ1つの目的がはっきりしていました。

問題提示の際には、指示棒を用いて縦軸と横軸をしっかりと確認し、基本的な知識を確認

してから作業に入ることで、その後の作業がスムーズに行われていました。表や図の拡大は、前時との「比較」に用い、（当日は、比較する時間はなかったようですが…）解答の場面では、ストップモーション機能を使って、子どもの活動を評価すると共に、その後の作業の見通しをもたせるのに効果的でした。

このように、どのような目的で活用するのかを考えながら活用することで、同じ機能でも効果が変わってくるのだと感じました。また、活用方法の講義の時は、「便利なのはわかるけれど、それに伴う準備も必要・・・。」と、ちょっと躊躇してしまう感もありましたが、今回の授業で映し出されたものは、教科書や子どもたちのノートだったので、大変な準備は一つもありませんでした。授業の中で生み出されるものが全て教材として利用でき、かつ、板書する時間の短縮にもなることが強みだと感じました。

～最後に・・・～

若手中心のICTチーム。年間を通し、本当に精力的に取り組み、実績を残してきました。しかし、このチームの素晴らしさは、実践だけではありません。今回の授業後も4人で反省会議を開き、今回の成果と課題をしっかりと自分達で確認していました。そして、「次は・・・。」と、意識は未来を向いています。その姿勢が素晴らしく、「組織の中で取組を行うということは、どういうことなのか。」その姿勢も含めて学ばせていただいた公開授業だったと思います。ICTチームの皆さん、本当にお疲れ様でした！

